

# 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市新津育ちの森		
管理者名	特定非営利活動法人 ヒューマン・エイド二十二	指定期間	平成28年4月1日 ~ 平成33年3月31日
担当課	新潟市秋葉区健康福祉課		
所在地	新潟市秋葉区程島2009番地		
根拠法令	児童福祉法第六条の二第六項		
設置条例	新潟市新津育ちの森条例		
施設概要	施設規模	鉄筋コンクリート造地上2階建ての1階部分の一部	
	施設面積	専有延床面積 413.15㎡	
	施設内容	プレイルーム：1室 (77.86㎡)，サークルルーム：2室 (39.46㎡)， 一時保育室：1室 (34.94㎡) 事務室：1室 (27.12㎡)，相談室：1室 (11.39㎡)， その他：4室 (222.38㎡)	
	開館日	平成14年4月1日	

施設設置目的	
子育てを行う市民に対する育児不安等についての相談及び指導並びに子育てサークル等への支援を行い、並びに地域の保育ニーズに応じて関係機関との連携を図り、もって地域全体で子育てを支援する基盤の形成を推進する。	
管理・運営に関する基本理念、方針等	
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者のニーズに寄り添う支援を目指します。</li> <li>2. 男性も育児を楽しむためにサポートします。</li> <li>3. 次世代に向けた「学びの場」の充実を図ります。</li> <li>4. 地域と連携し子育てしやすいまちになるよう働きかけ、共に学びます。</li> </ol>	

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価 ※	評価コメント ※
市 民	年間利用者数	・施設利用数8,000件以上 ・相談件数 1,000件以上	遊びの広場利用件数 7,794件 セミナー受講件数 620件、施設 利用件数 計8,414件 相談 件数 2,406件	A	施設利用件数は、セミナー受 講件数を加え、目標を達成して いる。相談件数は、2000件を超 え、目標を大幅に上回っている。
	各種サービス別満足度	利用者満足度アンケートで 「満足」又は「やや満足」の者 が7割以上	「満足」67%「やや満 足」27%合わせると 94%の回答を得た。	A	目標を大幅に超えて いる。
	苦情に対する対応	苦情・要望には5営業日以内 に回答したか。区への事故 報告は当日に行ったか	苦情・要望がしやすいよう、箱 を設置している。また、要望に 関しては、当日のうちに区の担 当者に報告、相談した。	B	利用者からの苦情・ 要望について、その 都度区に報告・相談 し、適切に対応し た。
	設置目的に合致したサービ スの提供	設置目的に合致した自主事 業を10回以上実施	学年別限定日10回、 サークル限定日2回、 サポーター研修4回、 ボランティア活動支援 37回他	A	目標を大幅に超えて いる。
財 務	事業収入等	事業収入等が目標額に達し ている	事業収入／目標 1,941,817／1,751,500 で目標額に達成してい る	A	目標を大幅に超えて いる。
	管理運営経費の削減	経費削減の取組み、努力を しているか	節電に努め、人件費に関して は、地域の人材を活用し、経費 削減に努めた。セミナーの講師 は職員が努め、講師料の削減 を行った。	B	経費削減の取組み により、研修費・ 交通費等の削減が できている。
業 務	業務仕様書に定める事項の 遵守	業務仕様書に定める事項を 遵守しているか	業務仕様書に定める 事項を遵守し、業務を 遂行している。	B	目標を達成してい る。
	事業計画・事業報告の適切 さ	事業計画や事業報告が適切 な内容であり、且つ期日ま でに提出されているか	アンケート結果・日常 の利用者の声を考慮 し、要望に沿った子育 て支援事業計画を立 案・作成している。事業 報告書の他にアンケ ート結果、利用者デー ターを添付し期限ま でに提出している。	B	目標を達成してい る。
	事件・事故発生時の対応の 適切さ	事件・事故が発生した場合 の対応方法が適切に定めら れており、それに必要な訓練 や講習を実施しているか	災害に備え災害マニュアルを 作成。スタッフ任務分担表をス タッフルームに掲示し、毎朝、 避難誘導のソフト確認を実施。 避難訓練を年2回、利用者と同 じに実施。救急法普及員の資 格を持つスタッフによる救急法 の研修を1回実施。 防災頭巾、非常持ち出し等を 常備している。	B	災害マニュアルの作 成や避難誘導の役 割分担の周知等、 適切に対応してい る。
人 材	労働基準の充足	労働関係法令を遵守してい るか	社会保険・労災保険・ 雇用保険に加入してい る。また、新潟県の基 準賃金に応じて給与を 支払い、労働関係法令 を遵守している。	B	目標を達成してい る。
	配置人員のミッションの理解 度とスキルの習得度	職員研修を年間5回以上実 施しているか	「赤ちゃんの絵本」 「タッチケア」「自己肯 定感について」「子育て 支援者研修・愛着形成 への支援」「救急法」 「あそびの提供につい て」「メディアとの付き 合い方」他、保育士 チームの勉強会を10 回実施	A	充実した職員研修 の実施により、利用 者の満足度の向上 につながっている。

#### 【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

#### 指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

- ・昨年度に引き続き、第一子の子育て支援を充実させた。乳児を持つ親同士が集い、情報交換や赤ちゃんとの関わり方を学び合える講座やサロンを開催した。また、赤ちゃんの部屋・ハイハイの部屋等、月齢が近いお子さんを持つ親同士が情報交換し、共感をしあえることで、育児不安の軽減を図れるよう職員が関わった。顔見知りができただけで、利用者同士が交流している姿もみられるようになった。
- ・初めて利用する親子にとって居心地の良い場所になるように、「ようこそ！」の部屋を設定しているが、初めて利用する方同士が集い、孤独感を感じることなく参加でき、今後の利用につながっているようだ。2、3回目の利用の方も参加できるので、利用することに慣れていない利用者へのフォローも同時に行っている。
- ・乳児の利用が増えている反面、幼児の利用人数が減少していることから、イヤイヤ時期の対応や、親自身のストレス解消のための事業や、子ども自身が楽しめるような事業を計画し、実施していきたい。
- ・相談に関しては、電話相談、個別の面談が昨年度よりも230件増えていること、相談内容が多岐にわたっていることから、安心して相談できる環境を整え、職員のスキルの向上に努めていきたい。

#### 所管課による総合評価(所見)

利用者のニーズに寄り添った施設の活用、職員体制及び職員の研修の充実により、利用者の高い満足度につながっていると考えられる。自主事業も多種にわたり、男性の育児参加への働きかけをはじめ、利用者同士の交流、情報共有の場となっている。更には、次世代の学びの場の提供を行う等、地域の子育て支援の拠点となっている。

また、昨年度に引き続き、相談件数が増加しており、子育てや家庭に悩む保護者にとって、相談しやすい身近な場となっている。内容によっては、専門機関との連携も行っていることから、専門機関と保護者をつなぐ重要な役割を担っている。

管理運営面においては、市との連携、情報交換を適切に行っており、利用者の安全面、利便性などを考慮した運営、経費削減にも努めており、業務仕様書に準じて適切な遂行がなされていると評価できる。

以上のことより、指定管理者として優良であると評価できる。